



辰川会グループ
山陽病院 地域包括病棟主任

池添 公恵さん

I K E Z O E K I M I E

フランス発祥のケア技法「ユマニチュード」を指導する。認知症の人と接する際の目線、会話、体に触れる際の注意点など、適切な方法を具体的に伝える。

福山市野上町2-8-2
TEL.084-923-1133
<https://sanyo.or.jp/sanyo>

顔

介護ケアの技法を
職場全体で学ぶ

看護師三〇人を含む総勢四七人の看護スタッフを、主任としてまとめる。「仲間たちのマネジメントが主な仕事。上司にいつでも相談できて、助けてもらえる体制が整っているから、気負いなく仕事にまい進できる」

患者の思いを尊重し、最期の日まで自分の足で立てる看護を目指す。認知症の人をケアする機会も多く、その技法について学び続けてきた。

「『ユマニチュード』を知ったのは四年ほど前。フランス発祥のケアの技法で、言葉の掛け方や体の触れ方など実践的に活用できる。学んだことを、折に触れてスタッフに伝えてきた」

病棟単位で日本ユマニチュード

40代で一念発起
働きながら学び
夢の看護師に

1ド学会の認証を受けることを目標に、6月から勉強会を始めた。「山陽病院はスタッフの研さんに対するサポートが手厚く、病棟全体で取り組めることになった。これまでは個別で細切れに伝えていたが、今は体系的に指導し、学んだことをすぐに活用できる。患者さんの生き生きとした表情を見ると、本当にやりがいを感じる」

看護師になったのは四八歳の時。「夫と営んでいた店をたたみ、子供の頃からの夢だった道を目指した」。ヘルパーとして勤務しつつ、福山市医師会看護専門学校に五年間通い、正看護師の資格を得た。

「看護師は直接、人の役に立てる仕事。家庭ではいつも穏やかとはいかないが、職場では常に優しい看護師でありたい」と笑う。